

水田から嫌な臭いがしていませんか？

定植から一ヶ月ほど経った5~6月。水田の中を歩くとブクブクと泡が出てきませんか？
ドブのような臭いがしていませんか？

【臭いの原因】・・・ドブ臭のする田で多収穫はできない！

臭いの原因は硫化水素ガスやメタンガス。

定植後、ずっと水を張っていると土壤中の酸素が不足し、嫌気性（酸素がない状態で生きる）の微生物が繁殖します。

この嫌気性の微生物は、作物や人間にとって有害な硫化水素ガスやメタンガスを作り出し、イネの根を痛める、下葉を枯らす、イモチの発生を助長するといった障害の原因となります。

また、前作の稲ワラや稲株などの残渣の腐敗もガス害の原因となります。

【ガス害が出た稲の特徴】

- ・根が赤茶色に変色している。（健康な根は白い）
- ・毛細根が未発達
＝養分の吸収力が弱い
- ・下葉が枯れている

【水田のガス対策】・・・「有毒ガス」を「有効な栄養源」にするために

定植後、20~30日で落水

【落水のポイント】

- ・圃場表面にヒビが入るくらいに干す。（ヒビを生じさせることによって、有害なガスを逃がし、根に新鮮な酸素を供給することができます。また、酸素と反応したメタンガスは炭酸ガスに変化します。）
- ・その後は間断カン水（貯水と落水を繰り返す）を行う。

＜生産者からよくある質問＞

- ・ヒビが入るまで干して大丈夫なの？
土壤中に少し湿り気があれば問題ありません。表面がカラカラに乾いているように見えても、土壤中には稲の生長に必要な水分が残っています。
上手な生産者の圃場は、普通の靴で歩くことができます！

【ガス害対策にはサンレッド】

サンレッドは、300mlの中に約3兆個もの光合成細菌を含んだ濃縮タイプの資材です。
 光合成細菌は、硫化水素ガスやメタンガスを分解して自らの活動エネルギーとしています。そのため、ガス害の抑制に効果があります。
 また、ガスを分解する際に炭水化物、アミノ酸、タンパク質、抗酸化物質などの多様な物質も作り出しています。そのため、根の周辺環境を整える効果も期待できます。



NET : 300ml

【使用方法】(10a 当たり)

・ **ガス害予防**

1 / 3本 (100ml) ~ 2 / 3本 (200ml) を流水施用してください。

・ **ガス害発生時**

2 / 3本 (200ml) ~ 1本 (300ml) を流水施用してください。

【倒伏防止にはMリンPK】・・・耐病性強化にも有効

生育状況	肥料切れ	標準	過繁茂
葉色の目安	コシヒカリ		
	4.0 以下	4.0~4.5	5.0 以上
施肥量 (10a 当たり)	その他の品種		
	4.5 以下	4.5~5.0	5.5 以上
MリンPK	MリンPK 10~20kg	MリンPK 0~20kg	MリンPK 20~30kg
	硫安 3~6kg	硫安 0~5kg	—

イネの状態を見ながら追肥。
 葉色の確認は **「ミズホ式葉色板」** で！

MリンPK

※詳しいご質問は各代理店またはミズホ会本部まで